

【成蹊学園サステナビリティ教育研究センター】

「ESD 成蹊フォーラム 2024 武蔵野の自然と成蹊の学び」を開催

成蹊学園（東京都武蔵野市、学園長：江川雅子）は、2024年3月31日（日）に、サステナビリティ教育研究センター主催のイベント「ESD 成蹊フォーラム 2024 武蔵野の自然と成蹊の学び」を開催します。

このフォーラムは、成蹊学園の一貫連携教育およびESD（Education for Sustainable Development * 持続可能な開発のための教育）活動の発表の場の一つとして、2016年度から開催しており、今回で8回目となります。

第1部では、本学園の学生・生徒・児童を対象に、持続可能な将来を視野に入れた活動を表彰する「サステナビリティ大賞」の表彰式と、本学園の各学校からのESD活動の実践報告を行います。

第2部では、成蹊小学校、成蹊中学・高等学校の卒業生で、世界的建築家の坂茂氏をお招きし、建築におけるサステナビリティをテーマにご講演いただきます。

【日 時】： 2024年3月31日（日）13:00～16:00

【場 所】： 成蹊学園 本館大講堂

※事前申込不要・入退場自由

第1部（報告）13:00～14:15

「持続可能な社会づくりのための成蹊の学び」

- ＞サステナビリティ大賞表彰式
- ＞各学校・プロジェクト活動報告
 - ・小学校6年生による卒業研究
 - ・中高ユネスコスクール探究プロジェクト
 - ・林苑プロジェクト「SEIKEI WOODS」
 - ・大学教養カリ「地域づくり論」氷室野菜
 - ・けやき循環プロジェクト

第2部（講演）14:30～16:00

「作品づくりと社会貢献の両立をめざして」

講 師： 坂 茂 氏（建築家）

プロフィール等詳細は公式ウェブサイト

(https://www.seikei.ac.jp/gakuen/esd/news_topics/2024/16751.html) をご参照ください。

- 【主催】： 成蹊学園／成蹊大学サステナビリティ教育研究センター
 【後援】： 武蔵野市、武蔵野市教育委員会、関東地方 ESD 活動支援センター、
 ESD 活動支援センター、持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）、
 ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）

ESD (Education for Sustainable Development) 成蹊フォーラム 2024

武蔵野の自然と成蹊の学び

ERCS
Education and Research Center for Sustainable Development

3/31 Sun 13:00 - 16:00

成蹊学園本館大講堂
事前申込不要・入退場自由

第1部(報告) 13:00~14:15
持続可能な社会づくりのための成蹊の学び

- ◆ サステナビリティ大賞表彰式
- ◆ 各学校・プロジェクト活動報告
- ▶ 小学校6年生による卒業研究
- ▶ 中高ユネスコスクール探究プロジェクト
- ▶ 林苑プロジェクト「SEIKEI WOODS」
- ▶ 大学教養カリ「地域づくり論」氷室野菜
- ▶ けやき循環プロジェクト

第2部(講演) 14:30~16:00
作品づくりと社会貢献の両立を目指して

講師：坂 茂 氏(建築家)




坂 茂 氏 プロフィール
1957年 東京都生まれ。小学校から成蹊学園で学び、成蹊高等学校を卒業。クーパー・ユニオン建築学部(NY)で建築を学び、東京、パリ、ニューヨークに事務所を構える。紙管を使った建築や、木材を使った革新的な構造で知られている。代表作はボンビドゥー・センター・メス(2010年)、紙の大聖堂(2013年)、大分県立美術館(2014年)、ラ・セヌ・ミュージカル(2017年)、富士山世界遺産センター(2017年)、SIMOSE(2023年)。1995年にNGO「Voluntary Architects' Network(VAN)」を設立し、世界各地での災害支援に数多く貢献したことから、プリツカー建築賞(2014年)、マザー・テレサ社会正義賞(2017年)、アストゥリアス皇太子賞平和部門(2022年)を受賞。成蹊大学情報図書館と成蹊小学校本館の設計も手掛ける。

背景画像は、ボンビドゥー・センター・メスを含むアンフィアトル地区再開発前のメス市街(フランス国土地理院発行25,000分の1地形図「METZ」1999年発行による)